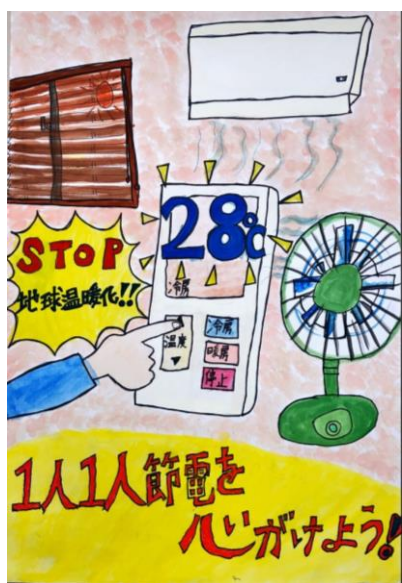


案

横須賀市環境教育・環境学習マスタープラン

令和3年度（2021年度）年次報告書

—令和4年度版—



横 須 賀 市

目 次

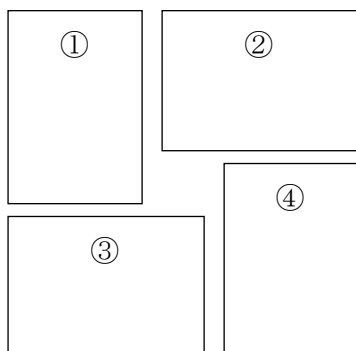
| | |
|------------------------------------|----|
| 『環境教育・環境学習マスタープラン』について…………… | 1 |
| 令和3年度の主な施策・取り組み…………… | 1 |
| 1 環境にやさしい社会を推進する人の育成と活用の促進「人づくり」…… | 2 |
| 2 環境に関する取り組みの機会と場の充実「機会づくり・場づくり」…… | 4 |
| 3 環境に関する情報の提供と啓発活動の推進「情報提供・普及啓発」…… | 8 |
| 4 各主体間の連携・協働の促進「連携・協働」…………… | 14 |

【ご注意】

この年次報告書は、「環境基本計画 令和3年度(2021年度)年次・総括報告書」の「施策の実施状況」を、環境教育・環境学習マスタープランの【4つの施策の方向】に位置づけた『環境基本計画に基づく具体的な取り組み』の順に整理した内容です。

そのため、「環境基本計画 令和3年度(2021年度)年次・総括報告書」の内容をそのまま記載していますので、環境教育・環境学習に直接関わりがないものも含まれています。

表紙の絵は、令和4年度環境ポスターコンクールの入選作品です(学校・学年は令和4年度)。



- | | |
|-----------|----------|
| ① 浦賀小学校5年 | 西川 愛修さん |
| ② 山崎小学校6年 | 丸 愛花さん |
| ③ 公郷小学校2年 | 久保田 将央さん |
| ④ 公郷小学校5年 | 松本 侑大さん |

『環境教育・環境学習マスタープラン』について

本市では、平成20年（2008年）3月に策定し、その後、平成28年（2016年）3月に見直しをした「横須賀市環境教育・環境学習マスタープラン」（以下、「環境教育・環境学習マスタープラン」という。）に基づき、環境教育・環境学習の推進に取り組んできました。

環境教育・環境学習マスタープランでは、行政（市）は、「人づくり」、「機会づくり・場づくり」、「情報提供・普及啓発」、「連携・協働」の【4つの施策の方向】を掲げ、環境教育・環境学習マスタープランの上位計画である「横須賀市環境基本計画（2011～2021）」（以下、「環境基本計画」という。）のさまざまな「施策の方向」のうち、【4つの施策の方向】に関するものを『環境基本計画に基づく具体的な取り組み』として整理し、環境教育・環境学習に関する取り組みを進めました。

この報告書は、環境教育・環境学習マスタープランの進行管理のため、令和3年度における本市の環境教育・環境学習に関する実施状況等を、環境教育・環境学習マスタープランの【4つの施策の方向】に沿って取りまとめ、公表するものです。環境教育・環境学習マスタープランは令和3年度（2021年度）をもって計画期間が終了することから、今年度は計画期間の最終年度の年次報告書となります。

令和4年度からは「横須賀市環境基本計画2030」に基づき、基本目標「環境にやさしい社会の担い手を育むまちをめざします」の実現に向け、「環境教育・環境学習の推進体制づくり」及び「環境教育・環境学習の機会の充実」を施策の柱として、多様な主体と連携・協働した取り組みを進めていきます。

令和3年度の主な施策・取り組み

令和3年度は、令和2年度に引き続き、コロナ禍の影響により一部の事業が中止または縮小となりましたが、環境教育・環境学習マスタープランに掲げた【4つの施策の方向】に基づき、さまざまな取り組みを進めました。

「人づくり」については、小学校などの環境教育・環境学習を支援する「環境教育指導者の派遣」や教員を対象とした「教員向け環境学習講座」を実施しましたが、環境活動者の更なるスキルアップを図る「相互交流を生かした人材育成講座」は中止しました。

「機会づくり・場づくり」については、環境活動に取り組む団体や学校を表彰する「横須賀いいね★エコ活動賞」、小学校を対象とした「環境体験事業」の実施、一般市民等を対象とした「環境月間啓発イベント」、コミュニティセンターや博物館、生涯学習センターの市民大学等における環境関連の講座などを開催しました。

「情報提供・普及啓発」については、環境教育・環境学習を支援するため、「環境学習冊子『よこすかのかんきょう』」の配布や「よこすかECO通信の発行」などを行いました。その他、環境に関する情報をホームページや出前講座、施設見学会などにより提供しました。

「連携・協働」については、市民、事業者、学校、行政などの実務者で構成する「環境教育・環境学習ネットワーク会議」の開催により、各種事業の検討を進めました。また、「学区の自然環境体験」事業では、小学校を対象とした環境体験プログラムを実施しました。

1 環境にやさしい社会を推進する人の育成と活用の促進「人づくり」

環境教育・環境学習においては、単に知識の習得や理解にとどまらず、自ら行動できる人材をはぐくみ、こうした人材が、家庭や地域社会の一員としての責任を持って環境に配慮した生活や活動を進め、また、事業活動などにおいて環境問題に積極的に取り組むことが大切です。

環境教育・環境学習を通じて、人間と環境との関わりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材の育成と活用を促進しました。

《令和3年度の主な施策の進捗状況》

〔人材の登用・活用〕

環境活動に関わる人材を「環境教育指導者等」として登録し、小学校が行う環境教育・環境学習の場に派遣しました。

〔人材の育成〕

研修やイベントを通じて環境活動者、環境活動団体のスキルアップを図りました。

《令和3年度の施策の実施状況一覧》

「人づくり」に掲げた施策の実施状況等は次のとおりです。

なお、「施策の方向」において太字で記載しているものは、「重点施策」です。

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---------------------------------|--|--|
| 環境教育・環境学習に係る指導者の登用および活用の拡大を進めます | 理科基礎技術研修講座 (学校教育部教育研究所) | ・野外活動や環境教育を推進する指導者としての知識や技術を深めることを目的に、教職員を対象に理科基礎技術講座を全4回開催(うち1回中止)、参加者延べ32人 生物教材の飼育(昆虫の飼育) 生物教材の飼育(メダカ) 自然観察会(博物館周辺の植物) |
| | 環境教育に係る指導者等の派遣 (環境政策部環境企画課) | ・国で認定した環境カウンセラー等をはじめ、市民活動団体・市内企業等を環境教育指導者として登録し、希望する市立保育園や学校に派遣 回数:9回、延34人派遣、延546人受講 内容:身近な自然、海のごみなどで、教室内による講座形式のほか、自然体験学習など ・前年度の派遣授業の実績をまとめた事例集を作成し、市内小中学校に配布 |
| 環境教育に係る人材育成のための制度を検討します | 職員研修の実施 (総務部人事課) | ・令和元年度で事業終了 |
| | 相互交流を活かした人材育成講座の実施 (環境政策部環境企画課) | ・教員向け環境学習講座「教員向け環境学習講座「教員向け<博物館たんけん>と<平和中央公園はっけん隊>」を開催、参加者19人 ・市内環境活動者を対象とした講習会はコロナ禍の影響により中止 |
| 環境保全に関する指導者の育成や自然保護団体の育成を図ります | 環境保全・自然保護のための指導者および団体の育成事業 (環境政策部自然環境共生課) | ・自然環境に係る活動団体が情報交換を行うための自然環境活動団体交流会(情報提供のみ) ・自然環境講演会「三浦半島のホテル～ホテルが育んだ水辺の自然環境～」 令和4年1月22日(土)14～16時、博物館講堂 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---|---|---|
| 水辺環境に関する調査・研究、普及啓発、人材育成機能などの向上を図ります | YRP「光の丘水辺公園」の生態系復元事業への協力 (教育総務部博物館運営課) | ・自然環境共生課及び水辺公園友の会と協力して「光の丘水辺公園」の植物及び昆虫を調査 |
| | 野比「かがみ田谷戸」の保全・再生事業への協力 (教育総務部博物館運営課) | ・令和2年度で事業終了 |
| | 相模湾の海洋生物および沿岸生物調査事業 (教育総務部博物館運営課) | ・天神島臨海自然教育園内の海洋生物調査 ・天神島臨海自然教育園内の海浜性昆虫及び海浜植物への訪花昆虫を調査 ・市民団体「相模湾海洋生物研究会」との協力による相模湾産魚類・貝類及び水中画像の収集 ・横須賀高校SSH事業との連携による潮だまりの調査実施 |
| | 身近な自然の保全とふれあい推進事業 (環境政策部自然環境共生課) | ・自然環境調査(ホテル) ・自然観察会の開催(光の丘水辺公園、衣笠山公園) |
| 市民参加の花の育成を推進し、暮らしに花のある空間づくりを進めます | 市役所前公園花壇花いっぱい推進 (環境政策部公園管理課) | ・市役所前公園花壇:85㎡に、花のボランティアがしょうぶ園で種から育てた四季折々の花苗の植え付け、維持管理を実施 活動日は通年、参加人数 94 人 |
| | 地域の花いっぱい推進 (環境政策部公園管理課) | ・(久里浜地域)花壇面積:941㎡、区画数 71 区画のうち、70㎡・7区画をボランティア 10 人で活動 ・花づくり講習会(指定管理者の自主事業として実施)はコロナ禍の影響により中止 |
| 「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)」に基づく取り組みを実施し、計画の推進に努めます | 低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)の推進 (環境政策部環境企画課) | ・横須賀市地球温暖化対策地域協議会との協力・連携による、市域における温暖化対策の取組を推進 ・YESに基づき市施設、各課等において省エネルギー対策を推進 ・市域からの温室効果ガス排出量 1,770 千トン(基準年度比 31.2%削減(令和2年度)) ・市の事務事業からの温室効果ガス排出量: 62,328トン(基準年度比:5.3%削減) |
| | 横須賀市ゼロカーボンシティの宣言 (環境政策部環境企画課) | 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言 |
| | ブルーカーボン事業の検討 (環境政策部環境企画課) | 温室効果ガスの吸収源として海藻類が吸収する二酸化炭素を排出量と相殺するブルーカーボンの検討 |
| 市職員への省エネルギー意識の啓発を行い、配慮行動を実践します | 横須賀市環境マネジメントシステム(YES)の運用管理 (環境政策部環境企画課) | ・横須賀市独自の環境マネジメントシステムであるYESの運用・管理を実施 内部環境監査(7月～10月) ホームページ等による情報公開(通年) |
| 市職員への省エネルギー意識の啓発を行い、配慮行動を実践します | クールビズ・ウォームビズの推進 (総務部人事課) | ・クールビズについて庁内イントラに内容を掲示し取り組みを周知 ・令和3年11月からノーネクタイ(軽装)の通年実施を開始 |
| | 職員研修の実施 (総務部人事課) | ・令和元年度で事業終了 |

2 環境に関する取り組みの機会と場の充実「機会づくり・場づくり」

環境に関する取り組みへの第一歩は、「身近な環境への気づき」です。環境教育・環境学習に取り組むためには、まず、環境に関心を持つきっかけづくりが重要です。

あらゆる人が環境教育・環境学習に主体として関わるきっかけづくりとして、環境に関するさまざまな体験や講座、イベントなどへ参画・参加する機会や持続的な活動を行うための拠点や場の充実を図りました。

《令和3年度の主な施策の進捗状況》

〔学習会・イベントの開催〕

保育園、小学校をはじめとして、コロナ禍の影響に対応した環境学習の機会を提供しました。

〔ふれあいの機会・場づくり〕

コロナ禍の影響により一部縮小しましたが、「横須賀エコツアー」や「里山的環境保全・活用事業」等を実施し、ふれあいの機会や場を創出しました。

〔拠点の整備・活用〕

環境教育・環境学習の場となる施設や設備を整備し、活用しました。

《令和3年度の施策の実施状況一覧》

「機会づくり・場づくり」に掲げた施策の実施状況等は次のとおりです。

なお、「施策の方向」において太字で記載しているものは、「重点施策」です。

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---------------------------------------|----------------------------------|--|
| 環境教育・環境学習に関する各種学習会、イベントなどを市が主催し、開催します | こどもエコクラブの推進 (環境政策部環境企画課) | ・日本環境協会が実施する「こどもエコクラブ事業」に登録し、環境活動を通じて子どもたちに対する環境意識の醸成を図った 登録数:2クラブ(参加こども数7人、サポーター4人) |
| | エコ育集会 (こども育成部保育課) | ・地球温暖化や節電、節水、ごみの減量化・資源化について絵本や手作り紙芝居などを用いて学ぶ、「エコ育集会」を保育園で実施するとともに、保育の中に利用 実施回数:各園幼児を中心に、各クラス保育中適宜行う |
| | 夏休みエコチャレンジポイント事業 (環境政策部環境企画課) | ・平成29年度で事業完了 |
| | 猿島自然観察会 (環境政策部環境企画課) | ・猿島で自然観察会を実施 11月19日:鶴久保小学校5年生(児童89人、先生6人) 11月26日:諏訪小学校3年生(児童52人、先生6人) 12月22日:田戸小学校5年生(児童91人、先生6人) |
| | 観音崎ウォークラリー (環境政策部環境企画課) | ・令和元年度で事業終了 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|--|---|---|
| | 「よこすか環境表彰式」の開催 (環境政策部環境企画課) | ・市民を対象とした環境イベント「横須賀かんきょうフォーラム」を廃止し、横須賀いいね★エコ活動賞及び環境ポスターコンクールの表彰に特化した「よこすか環境表彰式」にリニューアルして開催 |
| 環境教育・環境学習に関する各種学習会、イベントなどを市が主催し、開催します | 自然環境に関する講座を開講 (教育総務部博物館運営課) | ・自然観察会及び野外観察会を11回予定し、野外観察会を9回開催 ・博物館教室及び講座を8講座予定し、8講座開講 |
| | 自然環境に関する講演会を開催 (環境政策部自然環境共生課) | ・博物館運営課と共催で自然環境講演会「三浦半島のホタル」を開催(博物館運営課主催の「理科フェスティバル」との連携) |
| | 自然環境に関するイベントを開催 (教育総務部博物館運営課) | ・学校(小・中・高・大)及び市民団体等の研究成果展示とワークショップ「みんなの理科フェスティバル」を実施 ・学芸員による展示解説「ミュージアムトーク」(3回) ・米海軍横須賀基地の「アースデー」に「おでかけ博物館」はコロナ禍の影響により中止 |
| | コミュニティセンターにおける環境教育関連講座の開催 (市民部地域コミュニティ支援課、各行政センター) | ・逸見コミセン講座「へみのほたるを見に行こう」 ・北下浦コミセン講座「長沢川の生き物観察」 |
| | 市民大学事業(生涯学習センター指定管理事業) (教育総務部生涯学習課) | ・「海洋環境と私たちの暮らし」 ・「食と農の博物誌」(市博物館協力講座) |
| | 巡回環境パネル展 (環境政策部環境企画課) | ・環境学習用のパネルを公共施設等に展示(市役所展示コーナー、文化会館、生涯学習センター) |
| | 「出前授業」(上下水道局)の実施 (上下水道局経営部総務課) | ・市内小学校において、水循環の概念や水の大切さ、水環境保全の必要性について理解を深めてもらうため、出前授業を24校で実施 |
| | 横須賀いいね★エコ活動賞 (環境政策部環境企画課) | ・市内で環境活動を行う市民団体や学校等を表彰 ・学校短期活動の部4団体、一般の部6団体が受賞(表彰式:12月11日) |
| | 環境月間啓発イベント (環境政策部環境企画課) | ・市民が環境への興味を持つきっかけとなる「環境月間」啓発イベントを開催 |
| 市民、事業者、市が協働し、環境教育・環境学習に関する各種イベントなどを開催します | 博物館共催・協力事業 (教育総務部博物館運営課) | ・自然環境共生課との共催事業「横須賀しぜん散歩」を開催 ・公園管理課、生涯学習課の協力のもと、企画展示「中央公園ものがたり—砲台山から中央公園、そして平和中央公園へ—」を開催 ・環境企画課との共催事業、教員向け環境学習講座「教員向けく博物館たんけん>とく平和中央公園はっけん隊>」を開催 |
| | 横浜横須賀道路横須賀パーキングを利用した環境学習 *実施主体は東日本高速道路株式会社 (土木部土木計画課) | ・横須賀パーキングでの環境学習会は、コロナ禍の影響により中止 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|--|---|---|
| 里山的環境を保全・再生するための仕組みづくりを検討し、運用を図ることで、市民がみどりとふれあう機会を創出します | 里山的環境保全・活用事業 (環境政策部自然環境共生課) | <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市里山活動推進協議会、里山活動連絡会の運営及び開催 ・長坂地区(長坂5丁目)において田んぼ学校を実施 ・長坂地区で里山ボランティア育成講習会、自然体験会などを開催 ・野比かがみ田谷戸(野比5丁目)の市有地の一部で環境再生整備を継続 |
| 生物多様性保全と、市民のふれあいの機会の創出・活用の両立を進めるため、里山的環境の保全・再生やエコツアーリズムの取り組みを推進します | 横須賀エコツアー推進事業 (環境政策部自然環境共生課) | <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 160 回、延参加人数 2,110 人 ・横須賀エコツアー連絡会議を開催 ・横須賀エコツアーサポート協会によるエコツアー実施団体への支援及び会議の開催 ・夏の小学生向けエコツアーの開催(4プログラム、15 回開催、157 人参加) |
| | 里山的環境保全・活用事業 (環境政策部自然環境共生課) | <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市里山活動推進協議会、里山活動連絡会の運営及び開催 ・長坂地区(長坂5丁目)において田んぼ学校を実施 ・長坂地区で里山ボランティア育成講習会、自然体験会、自然観察会などを開催 ・野比かがみ田谷戸(野比5丁目)の市有地の一部で環境再生整備を継続 |
| 樹林地の維持管理に関する体験型のモデル事業を実施し、樹林地の保全などについて学ぶ機会を創出します | 樹林地管理モデル事業 (環境政策部自然環境共生課) | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度で事業完了 |
| 農業体験学習を実施するとともに、市民農園などを通じて、土とふれあう機会を増やします | 農業体験 (経済部農業振興課) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度はコロナ禍の影響により中止 |
| | 市民農園の管理運営 (経済部農業振興課) | <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園は「横須賀市行政改革プラン」に基づき平成 27 年度で閉園 |
| 「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)」に基づく取り組みを実施し、計画の推進に努めます | 低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)の推進 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市地球温暖化対策地域協議会との協力・連携による、市域における温暖化対策の取組を推進 ・YESに基づき市施設、各課等において省エネルギー対策を推進 ・市域からの温室効果ガス排出量:約 1,770 千トン(基準年度比 31.2%削減(令和2年度)) ・市の事務事業からの温室効果ガス排出量:62,328 トン(基準年度比:5.3%削減) |
| | 横須賀市ゼロカーボンシティの宣言 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> 2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言 |
| 「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)」に基づく取り組みを実施し、計画の推進に努めます | ブルーカーボン事業の検討 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの吸収源として海藻類が吸収する二酸化炭素を排出量と相殺するブルーカーボンの検討 |
| 既存の環境関連施設などを有効活用し、環境への意識を高めるための場として提供します | 学校教育における環境学習への協力 (教育総務部博物館運営課) | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校への出前授業による三浦半島の自然に関する授業 ・小学校団体見学の際の学芸員による三浦半島の自然に関する展示解説 ・横須賀高等学校SSHにおける研究指導 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|--|--|--|
| 既存の環境関連施設などを有効活用し、環境への意識を高めるための場として提供します | 天神島臨海自然教育園および馬堀自然教育園の管理事業 (教育総務部博物館運営課) | <ul style="list-style-type: none"> ・天神島臨海自然教育園及び馬堀自然教育園の保全管理 ・開園日に1日2～3回の巡回・清掃作業 ・園内動植物の昼夜観測によるモニタリング ・台風による被害対応並びに海岸地形変化の調査 ・園内樹木の適正な生育環境の創造を目的とした伐採事業 |
| | アイクル施設見学 (資源循環部リサイクルプラザ) | ・リサイクルプラザ「アイクル」の見学により、ごみの資源化を普及啓発 23 団体、124 人実施 |
| 環境教育・環境学習の拠点となる施設・設備を整備・活用します | 学校施設における新エネルギー設備等の導入および活用 (教育総務部学校管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校において太陽光発電等の新エネルギー設備を導入し、施設内の電力として使用するとともに環境学習に活用 導入した学校: 横須賀総合高等学校(平成 14 年) 大塚台小学校(平成 14 年) 大矢部小学校(平成 19 年) 諏訪小学校(平成 24 年) |
| | 動植物観察地を環境教育の場として活用 (環境政策部公園管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・光の丘水辺公園において、指定管理者及びボランティア団体(水辺公園友の会)による里山の維持・管理を実施及び自然観察会等を開催 活動内容:除草、田んぼの管理、池の水の管理、植物管理、湿地管理、カブトムシ・ホタル・サンショウウオの生息環境の整備と生態観察、早朝探鳥会、自然観察会、植物観察会等 開催回数:16 回 参加者:延べ 229 人 |
| | 天神島臨海自然教育園および馬堀自然教育園の管理事業 (教育総務部博物館運営課) | <ul style="list-style-type: none"> ・天神島臨海自然教育園及び馬堀自然教育園の保全管理 ・開園日に1日2～3回の巡回・清掃作業 ・園内動植物の昼夜観測によるモニタリング ・台風による被害対応並びに海岸地形変化の調査 ・園内樹木の適正な生育環境の創造を目的とした伐採事業 |
| ゆたかな自然とふれあえる場を創出するため、自然の魅力を生かした公園・緑地を整備します | 公園リニューアル事業 (環境政策部公園建設課) | <ul style="list-style-type: none"> ・公園のバリアフリー化を実施(貝山緑地トイレ(設計)) ・長寿命化対策として老朽化した遊具のリニューアルを実施(山科台公園ほか8公園) |
| | 三浦半島国営公園の誘致 (環境政策部公園建設課) | ・「三浦半島国営公園設置促進期成同盟会」による国営公園誘致活動(国への要望提出) |
| 海とみどりが調和した潤いのある海辺空間を創出するため、水際線に緑地などを整備します | 港湾環境整備事業 (みなと振興部港湾整備課) | ・休止(隣接する県道整備に合わせて整備を実施するため、県道を整備する神奈川県今後の整備実施待ち) |
| 河川や海辺などの親水施設の充実を図ります | 河川親水施設の維持管理 (土木部河川・傾斜地課) | <ul style="list-style-type: none"> ・前田川 清掃 126,430 m²、除草 7,840 m² ・関根川 清掃 21,840 m²、除草 9,375 m² ・関渡川 清掃 15,000 m²、除草 4,875 m² |

3 環境に関する情報の提供と啓発活動の推進「情報提供・普及啓発」

環境教育・環境学習を進めていくためには、環境についての正しい情報を知ることが不可欠ですが、さまざまな分野と関わりがある環境は情報量も多く、それらを正確に理解するには、科学的な分野など広い知識が必要です。

環境に関するさまざまな情報を、誰もが手軽に利用できるような仕組みづくりを行うとともに、各主体ができる取り組みを知ってもらうための啓発活動も併せて推進します。

《令和3年度の主な施策の進捗状況》

〔普及啓発・実践〕

環境に関わるさまざまな情報を提供したり、各種計画に基づく事業を推進することで、誰もができる環境への取り組みなどを啓発しました。

《令和3年度の施策の実施状況一覧》

「情報提供・普及啓発」に掲げた施策の実施状況等は次のとおりです。

なお、「施策の方向」において太字で記載しているものは、「重点施策」です。

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---------------------------|--|---|
| 環境教育・環境学習の支援に関する情報を提供します | 冊子「よこすかのかんきょう」の作成・配布 (環境政策部環境企画課) | ・環境学習冊子「よこすかのかんきょう平成30年度作成版」を希望校に配付(220冊) |
| | 教育情報のデータベース活用 (学校教育部教育研究所) | ・教育情報センターと連携し、環境教育推進のためデータベース活用を推進(インターネット、教育イントラネット上に情報を公開 イン트라ネット上の情報を整備) データベース化されている教育情報:理科なび、三浦半島の地層・地質、三浦半島の野鳥、三浦半島の植物 |
| | ホームページ「よこすかの環境保全活動」の活用 (環境政策部環境企画課) | ・ホームページ「よこすかの環境保全活動」において、市民団体等の環境活動を紹介 掲載団体数:12団体 (内訳:市民団体8、事業者3、学校1) |
| | 環境教育・環境学習関連ホームページの運営 (環境政策部環境企画課) | ・ホームページ「よこすかの環境教育・環境学習」で、環境教育・環境学習関連情報を紹介 |
| | よこすかECO通信の発行 (環境政策部環境企画課) | ・市内の環境情報の一元化、情報発信を目的とした「よこすかECO通信」を年4回、各3,000部作成し、市関連施設で配架するとともに、市内学校等に配布 |
| 「横須賀市環境学習プログラム」などの活用を促します | 環境学習プログラムの活用 (環境政策部環境企画課) | ・環境学習に取り組むための「横須賀市環境学習プログラム」をホームページで周知 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|--|---|--|
| 生物の生息状況などに係る調査を実施し、環境教育・環境学習や自然観察会などへの活用を図ります | YRP「光の丘水辺公園」の生態系復元事業への協力 (教育総務部博物館運営課) | ・自然環境共生課および水辺公園友の会と協力して「光の丘水辺公園」の植物及び昆虫を調査 |
| | 野比「かがみ田谷戸」の保全・再生事業への協力 (教育総務部博物館運営課) | ・令和2年度で事業終了 |
| | 相模湾の海洋生物および沿岸生物調査事業 (教育総務部博物館運営課) | ・天神島臨海自然教育園内の海洋生物調査 ・天神島臨海自然教育園内の海浜性昆虫および海浜植物への訪花昆虫の調査 ・「相模湾海洋生物研究会」との協力による相模湾産魚類・貝類及び水中画像の収集 ・横須賀高校 SSH 事業との連携による潮だまりの調査実施 |
| | 身近な自然の保全とふれあい推進事業 (環境政策部自然環境共生課) | ・自然環境調査(ホテル) ・自然観察会の開催(光の丘水辺公園、衣笠山公園) ・いきもの暦の作成 |
| | 全国水生生物調査への協力 (環境政策部自然環境共生課) | ・環境省が実施している全国水生生物調査に対し、市民団体が調査に協力(市は国と団体間の連絡調整) 令和3年度は実績なし |
| | 博物館だよりの発行 (教育総務部博物館運営課) | ・「博物館だより」を年2回(各 250 部)発行し、来館・来園者及び市内小学校に配布 |
| | 博物館研究報告(自然)の発行 (教育総務部博物館運営課) | ・博物館研究報告(自然)第 69 号を刊行し、博物館研究報告(自然)を刊行し、加計呂麻島北岸と奄美大島北部で発見されたアマミホシゾラフグの産卵巣に関する報告、自然・人文博物館所蔵「鎌倉市十二所産甲虫類コレクション」の再検討の報告などを掲載 |
| 水質・土壌などに係る有害物質などの調査を定期的実施するとともに、生物相調査などを行い、市域の水環境特性の把握に努め、調査結果の公表を行います | 水質の監視 (環境政策部環境管理課) | ・公共用水域水質測定計画に基づく類型指定水域の調査(毎月1回):河川3地点、海域5地点 ・類型指定水域以外の中小河川調査(年6回):10 河川 10 地点 ・地下水質調査(年1回):13 地点 ・ダイオキシン類調査: 水質 海域:5地点(年1回) 底質 海域:5地点(年1回) 地下水:4地点(年1回) 土壌:4地点(年1回) |
| | ゴルフ場農薬調査 (環境政策部環境管理課) | ・1ゴルフ場について、3地点3回分の水質調査結果を確認 |
| | 三浦半島の河川水生動物相調査 (教育総務部博物館運営課) | ・相模湾海洋生物研究会と協力して三浦半島の水生動物相調査を実施 ・横須賀市地域水質保全協議会の関根川流域の水質及び水生動物相調査の実施協力 |
| 一般環境大気測定および自動車排出ガス測定により、地域の実情に応じた監視網を形成し、監視結果の公表を行います | 一般環境および自動車排出ガス常時監視 (環境政策部環境管理課) | ・一般環境大気測定局4局(追浜、久里浜、西の各行政センター及び池上コミュニティセンター)及び自動車排出ガス測定局1局(小川町交差点)において大気汚染物質の毎時間濃度を測定 ・一般環境大気測定局(追浜行政センター)において、微小粒子状物質の成分分析を実施 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---|---|--|
| 有害化学物質などに関する大気・水質などの調査を実施し、情報の公開など、リスクコミュニケーションに努めます | 水質の監視 (環境政策部環境管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域水質測定計画に基づく類型指定水域の調査(毎月1回):河川3地点、海域5地点 ・類型指定水域以外の中小河川調査(年6回):10河川10地点 ・地下水質調査(年1回):13地点 ・ダイオキシン類調査: 水質 海域:5地点(年1回) 底質 海域:5地点(年1回) 地下水:4地点(年1回) 土壌:4地点(年1回) |
| | ゴルフ場農薬調査 (環境政策部環境管理課) | ・1ゴルフ場について、3地点3回分の水質調査結果を確認 |
| | 有害大気汚染物質調査 (環境政策部環境管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・大気中の有害大気汚染物質調査(毎月実施):2カ所(追浜行政センター分館、横須賀市役所) ・大気中のダイオキシン類の調査(年2回実施):2カ所(追浜行政センター分館、久里浜行政センター) |
| 環境負荷の少ない商品に関する情報提供を行い、グリーン購入の普及に努めます | グリーン購入の推進 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・「横須賀市グリーン購入調達方針」に基づき、庁内における物品等の調達時にグリーン購入を実践し、取り組み結果をホームページ等で公表 対象は22分野282品目 集計対象は抽出指定し22分野99品目 |
| 日頃からそれぞれの立場で自然災害に対する備えができるよう、市民・事業者に対して、自然災害の未然防止に関する情報の提供を行います | 地域防災計画推進事業 (市長室危機管理課) | ・横須賀市地域防災計画(地震災害対策計画編、風水害対策計画編)の改訂、公表 |
| | 防災パネル展の開催 (土木部河川・傾斜地課) | <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害防止に対する市民の理解と関心を深めるため「防災パネル展」を開催 期間:令和3年6月21日～25日 場所:市役所1階展示コーナー |
| | 活断層パンフレットの実費販売 (土木部河川・傾斜地課) | ・平成30年度で販売終了 |
| 「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)」に基づく取り組みを実施し、計画の推進に努めます | 低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)の推進 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市地球温暖化対策地域協議会との協力・連携による、市域における温暖化対策の取組を推進 ・YESに基づき市施設、各課等において省エネルギー対策を推進 ・市域からの温室効果ガス排出量:約1,770千トン(基準年度比31.2%削減(令和2年度)) ・市の事務事業からの温室効果ガス排出量:62,328トン(基準年度比:5.3%削減) |
| | 横須賀市ゼロカーボンシティの宣言 (環境政策部環境企画課) | 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言 |
| | ブルーカーボン事業の検討 (環境政策部環境企画課) | 温室効果ガスの吸収源として海藻類が吸収する二酸化炭素を排出量と相殺するブルーカーボンの検討 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|-------------------------------------|---|--|
| 水辺環境に関する調査・研究、普及啓発、人材育成機能などの向上を図ります | YRP「光の丘水辺公園」の生態系復元事業への協力 (教育総務部博物館運営課) | ・自然環境共生課および水辺公園友の会と協力して「光の丘水辺公園」の植物及び昆虫の調査を実施 |
| | 野比「かがみ田谷戸」の保全・再生事業への協力 (教育総務部博物館運営課) | ・令和2年度で事業終了 |
| | 相模湾の海洋生物および沿岸生物調査事業 (教育総務部博物館運営課) | ・天神島臨海自然教育園内の海洋生物調査 ・天神島臨海自然教育園内の海浜性昆虫及び海浜植物への訪花昆虫を調査 ・市民団体「相模湾海洋生物研究会」との協力による相模湾産魚類・貝類及び水中画像の収集 ・横須賀高校SSH事業との連携による潮だまりの調査実施 |
| | 身近な自然の保全とふれあい推進事業 (環境政策部自然環境共生課) | ・自然環境調査(ホテル) ・自然観察会の開催(光の丘水辺公園、衣笠山公園) ・いきもの暦の作成 |
| さまざまな方法により、ごみの減量化について普及啓発活動を行います | アイクル・マイスター活動 (資源循環部リサイクルプラザ) | ・平成27年度で活動終了 |
| | ごみの減量化・資源化啓発事業 (資源循環部資源循環推進課) | ・広報よこすかなどに、ごみの減量化・資源化、適正処理についての啓発記事を掲載 ・市民を対象としたごみ処理施設の見学、小中学生・高校生を対象としたごみ処理を中心とした環境問題の学習会 ・町内会、自治会等を対象としたごみの減量化・資源化啓発事業に関するごみトーク 子どもごみ教室:開催回数 47回、参加者延べ 1,393人 ごみトーク:2団体、38人 ・ごみ問題学習会はコロナ禍の影響により中止 |
| | 「環境にやさしい買い物キャンペーン」の普及・啓発の実施 (環境政策部環境企画課) | ・市のホームページ等により普及啓発を実施 |
| | ごみダイエット推進員活動 (資源循環部資源循環推進課) | ・ごみダイエット推進員を対象としたごみ処理施設の見学会及び研修会はコロナ禍の影響により中止 |
| さまざまな方法により、ごみの資源化について普及啓発活動を行います | アイクル施設見学 (資源循環部リサイクルプラザ) | ・リサイクルプラザ「アイクル」の見学により、ごみの資源化を普及啓発(23団体、124人実施) |
| | アイクルフェアの開催 (資源循環部リサイクルプラザ) | ・ごみの減量化・資源化の推進を目的とした「アイクルフェア」(年3回)はコロナ禍の影響により中止 |
| | リサイクル体験教室 (資源循環部リサイクルプラザ) | ・古布などの廃棄物を利用した作品づくり等のリサイクル体験教室を開催 開催回数 26回、延 262人 |
| | アイクル・マイスター活動 (資源循環部リサイクルプラザ) | ・平成27年度で活動終了 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---|--|--|
| さまざまな方法により、ごみの資源化について普及啓発活動を行います | ごみの減量化・資源化啓発事業 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・広報よこすかなどに、ごみの減量化・資源化、適正処理についての啓発記事を掲載 ・市民を対象としたごみ処理施設の見学、小中学生、高校生を対象としたごみ処理を中心とした環境問題の学習会の開催 ・町内会、自治会等を対象としたごみの減量化・資源化啓発事業に関するごみトーク 子どもごみ教室:47回、延参加者数 1,393人 ごみトーク:2団体、38人 ・ごみ問題学習会はコロナ禍の影響により中止 |
| | ごみダイエット推進員活動 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみダイエット推進員を対象としたごみ処理施設の見学会および研修会は、コロナ禍の影響により中止 |
| ポイ捨ておよび不法投棄の防止について、市民・事業者などへの普及啓発を図り、防止対策を推進します | ポイ捨て防止対策事業 (資源循環部資源循環推進課、資源循環部資源循環久里浜事務所) | <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨て防止条例の周知、ごみの持ち帰りの徹底、路上禁煙地区の周知啓発等(路上喫煙巡回指導)を図るため、「広報よこすか」や啓発ポスターなどによる各種啓発活動等を実施 ・クリーンよこすか市民の会、クリーン清掃応援隊と協力し、ごみゼロ啓発キャンペーン、年末ポイ捨て防止啓発街頭キャンペーン等を実施 ・路上禁煙啓発ポスター400枚を作成、京急バス車内へ掲出 ・パッカー車を利用したポイ捨て防止啓発放送実施 ・路上禁煙地区の路上サイン張替、清掃 ・継続した定点(7カ所)での「ポイ捨てごみ散乱状況実態調査」を年4回実施 |
| | 不法投棄防止事業 (資源循環部資源循環推進課、資源循環部資源循環久里浜事務所) | <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止のための啓発事業の実施 パネル展:9月から12月(本庁舎及び各行政センター10カ所) ・市内3警察署との合同パトロール:7回 ・市民からの不法投棄の通報件数:178件 ・移動式監視カメラの設置:9台 |
| 市民および事業者における省エネルギー設備などの普及啓発を進めます | 大規模土地利用行為における再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模土地利用行為連絡調整会議において、該当する案件なし |
| | 横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局の運営 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・「横須賀市地球温暖化対策地域協議会」において温室効果ガス削減に向けた活動を推進 総会、理事会等の開催:3回 ・節電啓発事業の実施、広報活動などへの支援 ・人材育成事業、プロジェクトチーム事業は、コロナ禍の影響により中止 |
| | 家庭で取り組む省エネについての情報提供 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・「広報よこすか」や市のホームページで、節電をはじめとした省エネの取り組みなどの情報提供を実施 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---|---|---|
| 市民および事業者における再生可能エネルギー設備などの普及啓発を進めます | 住宅用スマートエネルギー設備設置費補助事業等 (環境政策部環境企画課) | ・PCS(電気自動車充電設備)交付件数:2件 ・太陽光発電システムのよこすかエコポイントへの交付 申請件数:28件 交付件数:25件 |
| | 太陽光発電事業に係る市施設の屋根貸し事業 (環境政策部環境企画課) | ・事業者と協定を締結し、目的外使用許可を行い発電事業を継続中 |
| | 大規模土地利用行為における再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進 (環境政策部環境企画課) | ・大規模土地利用行為連絡調整会議において、該当する案件はなし |
| | よこすかエコポイント事業 (環境政策部環境企画課) | ・太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、HEMS、各種高効率給湯機、電動バイクのいずれか1つ以上を新規に設置・購入した市民に対して、市内協力事業者の商品券等と交換できるエコポイントを交付 よこすかエコポイント 申請件数:589件 交換件数:556件 |
| | 太陽光発電、太陽熱利用システム、高効率給湯器などの効果や機器についての情報提供 (環境政策部環境企画課) | ・令和3年度実績なし |
| 「環境にやさしい市民および事業者の行動・配慮指針」の活用を周知し、省エネルギー型ライフスタイルへの転換を促します | 環境配慮指針(日常生活編・事業活動編)の活用 (環境政策部環境企画課) | ・横須賀市環境配慮指針「開発行為等事業編」、環境にやさしい市民・事業者の行動・配慮指針の配布とともに、市ホームページへの掲載し、周知・活用促進を実施 |
| 「横須賀市環境配慮指針 開発行為等事業編」および「環境ナビゲーションシステム」を開発事業者などに配付し、環境配慮の実践を促進します | 環境配慮指針 開発行為等事業編および環境ナビゲーションシステムの活用 (環境政策部環境企画課) | ・環境配慮指針開発行為等事業編について、パソコンによる検索が可能な「環境ナビゲーションシステム」を、開発業者との協議の際に配付(配付は環境企画課、環境管理課で実施)し、環境配慮の実践を促進 令和3年度 環境企画課0件 環境管理課1件 |
| マイカー利用の抑制や、エコドライブの周知など、市民や事業者に対する啓発を推進します | アイドリング・ストップの推進 (環境政策部環境管理課) | ・啓発ポスターを指定事業所、駐車場管理者、安全運転管理者会加入事業所、市内タクシー業界等に配布 ・環境管理課カウンターでパンフレットを配架 |
| 光害について、適正な照明環境への配慮を行うよう、周知啓発を行います | 光害周知啓発事業 (環境政策部環境管理課) | ・「広報よこすか」への記事掲載は終了 |
| フェアトレード製品の普及啓発を行います | フェアトレードの啓発・推進 (市長室国際交流課) | ・コロナ禍の影響により、市主催の国際式典レセプションは中止したため、フェアトレードコーヒーの提供実績なし |

4 各主体間の連携・協働の促進「連携・協働」

環境教育・環境学習は行政（市）の取り組みだけではなく、市民、市民活動団体、事業者、学校、地域の各主体と協力し、「人づくり」、「機会づくり・場づくり」、「情報提供・普及啓発」を進めていくことが大切です。

各主体の役割や特徴を活かせる取り組みを進めることにより、お互いのつながりを深めるとともに、主体間の連携・協働を促します。

《令和3年度の主な施策の進捗状況》

〔連携・協働による取り組み〕

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」や「横須賀市地球温暖化対策地域協議会」などと連携して、各種事業を推進しました。

《令和3年度の施策の実施状況一覧》

「連携・協働」に掲げた施策の実施状況等は次のとおりです。

なお、「施策の方向」において太字で記載しているものは、「重点施策」です。

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---|--|--|
| 市民、事業者、市など各主体が情報共有を行い、環境活動を連携して推進していきます | 環境教育・環境学習ネットワーク会議の開催 (環境政策部環境企画課) | ・市民、事業者、学校、行政等で構成する「環境教育・環境学習ネットワーク会議」を3回開催し、「相互交流を生かした人材育成講座」などの実施を検討 |
| | 省エネ・節電の周知啓発 (環境政策部環境企画課) | ・「節電コンクール」を実施 応募数:120点 表彰式:12月13日 |
| 市民、事業者、市の連携および協働による環境教育・環境学習の取り組みの実践を推進します | 相互交流を活かした人材育成講座の実施 (環境政策部環境企画課) | ・教員向け環境学習講座を実施 ・市内環境活動者向け講座はコロナ禍の影響により中止 |
| | 市民協働モデル事業「学区の自然を再発見、小学校向けの環境体験事業」の実施 (環境政策部環境企画課) | ・令和元年度で終了 (令和2年度から「学区の自然環境体験」として事業化) |
| | 「学区の自然環境体験」の実施 (環境政策部自然環境共生課) | ・希望する小学校を対象に学区ごとの環境体験プログラムを実施(平成29年度～令和元年度に市民協働モデル事業で実施してきた「小学校向け環境体験事業」の事業化) 参加校:5校 実施回数:延べ16回 受講者数:延べ1,087人 |
| | 市民協働モデル事業「外来生物バスターズモデル事業」の実施 (環境政策部自然環境共生課) | ・令和2年度で事業終了 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|--|--|---|
| 市民、事業者、市が協働し、環境教育・環境学習に関する各種イベントなどを開催します | 博物館共催・協力事業 (教育総務部博物館運営課) | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境共生課との共催事業「横須賀しぜん散歩」を開催 ・公園管理課、生涯学習課の協力のもと、企画展示「中央公園ものがたり一砲台山から中央公園、そして平和中央公園へ」を開催 ・環境企画課との共催事業、教員向け環境学習講座「教員向けく博物館たんけん」とく平和中央公園はっけん隊」を開催 |
| | 横浜横須賀道路横須賀パーキングを利用した環境学習 *実施主体は東日本高速道路株式会社 (土木部土木計画課) | ・コロナ禍の影響により中止 |
| 市民、事業者、市の協働による環境に配慮したまちづくりを推進します | 市役所前公園花壇花いっぱい推進 (環境政策部公園管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・市役所前公園花壇:85㎡に、花のボランティアがしょうぶ園で種から育てた四季折々の花苗を植え付け、維持管理を実施 活動日は通年、参加人数 94 人 |
| | 海浜地清掃事業 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人かながわ海岸美化財団と連携し、東京湾側8海岸、相模湾側6海岸の清掃を実施 清掃実績 402 回 127,359 kg |
| | クリーンアップ大作戦 in はしりみず (みなと振興部港湾企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣小中学生を中心としたボランティアの海浜地(走水伊勢町海岸)の清掃は、コロナ禍の影響により中止 |
| | 砂浜美化ボランティア活動の推進 (みなと振興部港湾管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・里親ボランティアが各地の海浜地の清掃を実施 清掃実施:10 回 |
| | 地域の花いっぱい推進 (環境政策部公園管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・(久里浜地域)花壇面積:941㎡、区画数 71 区画のうち、70㎡・7区画をボランティア 10 人で活動 ・花づくり講習会(指定管理者の自主事業として実施)はコロナ禍の影響により中止 |
| | 市民協働モデル事業「学区の自然を再発見、小学校向けの環境体験事業」の実施 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度で終了 (令和2年度から「学区の自然環境体験」として事業化) |
| | 「学区の自然環境体験」の実施 (環境政策部自然環境共生課) | <ul style="list-style-type: none"> ・希望する小学校を対象に学区ごとの環境体験プログラムを実施(平成 29 年度～令和元年度に市民協働モデル事業で実施してきた「小学校向け環境体験事業」の事業化) 参加校:5校 実施回数:延べ 16 回 受講者数:延べ 1,087 人 |
| | 市民協働モデル事業「外来生物バスターズモデル事業」の実施 (環境政策部自然環境共生課) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度で事業終了 |
| 横須賀いいね★エコ活動賞 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・市内で環境活動を行う市民団体や学校等を表彰 ・学校短期活動の部4団体、一般の部6団体が受賞 表彰式:12 月 11 日 | |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|---|---|--|
| 市民、事業者、市の協働による環境に配慮したまちづくりを推進します | 低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)の推進 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市地球温暖化対策地域協議会との協力・連携による、市域における温暖化対策の取組を推進 ・YESに基づき市施設、各課等において省エネルギー対策を推進 ・市域からの温室効果ガス排出量:約 1,770 千トン(基準年度比 31.2%削減(令和2年度)) ・市の事務事業からの温室効果ガス排出量:62,328 トン(基準年度比:5.3%削減) |
| 「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)」に基づく取り組みを実施し、計画の推進に努めます | 横須賀市ゼロカーボンシティの宣言 (環境政策部環境企画課) | 2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「横須賀市ゼロカーボンシティ」を宣言 |
| | ブルーカーボン事業の検討 (環境政策部環境企画課) | 温室効果ガスの吸収源として海藻類が吸収する二酸化炭素を排出量と相殺するブルーカーボンの検討 |
| | 緑のカーテンの取り組みの周知啓発 (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市地球温暖化対策地域協議会で「緑のカーテンコンテスト」を実施 応募数:28 件 ・「緑のカーテン作り方講習会」はコロナ禍の影響により中止 |
| 猛暑日などにおける不快感の解消を図るため、ヒートアイランド対策を検討・推進します | 民有地緑化支援制度 (環境政策部自然環境共生課) | <ul style="list-style-type: none"> ・民有地(住宅・事業所等)における道路面緑化、駐車場緑化、屋上緑化、壁面緑化等の緑化行為に対し、補助金を交付 令和3年度実績なし |
| | クールビズ・ウォームビズの推進 (総務部人事課) | <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズについて庁内イントラに内容を掲示し取り組みを周知 ・令和3年5月から 10 月までクールビズを実施し、11 月からノーネクタイ(軽装)の通年実施を開始 |
| | 簡易包装の促進 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生・高校生を対象とした子どもごみ教室において簡易包装推進の呼びかけを実施 ・町内会、自治会等を対象としたごみトークは、コロナ禍の影響により中止 |
| ごみの発生を抑制するために、市民・事業者の活動を支援します | レジ袋削減対策 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月から始まったレジ袋の有料化について、県内自治体の取り組み状況を参考とし、マイバッグの持参等、市民への周知を行い、レジ袋削減を推進 |
| | クリーンよこすか推進事業 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンよこすか市民の会委員による、まちの清掃美化活動の実践と啓発 小中学生ポスター・標語の募集・展示 応募ポスター951 点、標語 383 点 ・クリーンよこすか市民のつどいはコロナ禍の影響により中止 ・ポイ捨て防止街頭キャンペーンは、コロナ禍の影響により縮小して実施 全 13 日、参加者 104 人 |

| 施策の方向 | 事業名 (担当部担当課) | 令和3年度事業実績 (関連データ等) |
|--|---|---|
| 市民団体などによるまちの美化活動を支援します | ごみ収納ボックス・カラス除けネット配付事業 (資源循環部資源循環推進課、資源循環部資源循環久里浜事務所) | <ul style="list-style-type: none"> ・市民等に対する一般廃棄物の分別排出の指導を実施 ・ごみ収納ボックス 323 基、カラス除けネット 2,353 枚を町内会等に配付 ・データ(集積所の位置)の管理 |
| 資源化の円滑な推進を図るため、分別・排出ルール徹底を周知するとともに、集団資源回収の実施団体などを支援します | 集団資源回収推進事業 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・町内会などの団体と資源回収業者との協力によって実施される集団資源回収の推進のため、回収量に応じた奨励金を交付するなど側面からの支援を実施 資源回収実施団体:497 団体 資源回収実施回数:13,142 回 資源回収の回収量:18,181t |
| | 海浜地清掃事業 (資源循環部資源循環推進課) | <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人かながわ海岸美化財団と連携し、東京湾側8海岸、相模湾側6海岸の清掃を実施 清掃実績 361 回 105,315kg |
| 市民、事業者、市の協働による、海域環境の美化を推進します | クリーンアップ大作戦 in はしりみず (みなと振興部港湾企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣小中学生を中心としたボランティアの海浜地(走水伊勢町海岸)の清掃は、コロナ禍の影響により中止 |
| | 砂浜美化ボランティア活動の推進 (みなと振興部港湾管理課) | <ul style="list-style-type: none"> ・里親ボランティアが各地の海浜地の清掃を実施 清掃実施:10 回 |
| | 河川愛護事業 (土木部河川・傾斜地課) | <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体、企業等が道路や公園などの美化活動などを行い、市がその支援を行う「横須賀市まちかど里親制度」のボランティア 11 団体に対し物品貸与等を実施 |
| 河川環境の維持管理などを進めるため、市民、事業者、市の協働による河川の美化活動を積極的に展開します | 前田川リバーウォッチング (土木部河川・傾斜地課) | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により中止 |
| 事業者の CSR (企業の社会的責任) 活動の促進を図ります | 環境ポスターコンクール (環境政策部環境企画課) | <ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学生から環境ポスターを募集し、入選作品については「よこすか環境表彰式」で表彰 応募数:950 作品 入選者:横須賀市長賞1人、協賛企業・団体賞 20 人 表彰式:12 月 11 日 |



横須賀市環境教育・環境学習マスタープラン
令和3年度（2021年度）年次報告書
—令和4年度版—
〈令和5年（2023年）3月発行〉

横須賀市環境部ゼロカーボン推進課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
電話 046-822-8327 F A X 046-824-5630
E-mail : ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp